アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.134/2018 年 4 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第134号をお届けします.

【1】2月一種研開催報告

2/15(木)・16(金)に, 東京・構造計画研究所で開催されました. 恒例の企業特集オーガナイズドセッション9件, チュートリアル講演1件, 一般講演4件, IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演1件の計15件の発表がありました. 常連の方から日頃ご発表の機会が少ない方まで多くの企業の皆さまのご投稿, ありがとうございました. とても刺激的な企画セッションでした. 来年も, よろしくお願いいたします. それにしても, 会場が駅徒歩1分って, 素敵ですね. オーガナイザと会場をご担当いただきました吉敷様, ご尽力ありがとうございました. チュートリアル講演では, 三菱電機の高橋徹氏に「位相変調によるフェーズドアレーキャリブレーション技術」というタイトルでご講演いただきました. 1月の一般講演での「振幅測定によるフェーズドアレーキャリブレーションの一検討」に続き多角的観点よりフェーズドアレーキャリブレーションを解説いただきました. もっとまとまった感じでの時間が取れるといいですね・・・.

【2】WS-59開催案内

2018年WSシリーズ第5弾の締切が間近になってきました. タイトルにもあるように, 電波伝搬特性を理解するのに必要な基礎知識や移動伝搬特性、伝搬モデルの解説を行い, 電波伝搬の理解や電波伝搬測定・システム試験に役立ててもらうことを目的としたWSです.

「測ってわかる伝搬」
講師　市坪信一先生(九州工業大学)
2018年5月25日(金)　9:30～17:00
同志社大学　東京サテライトキャンパス
申込締切　4月20日(金)　※最新情報はAP研HP, AP-NETで

【3】WS-60開催案内

続いて, 第 6 弾は MIMO アンテナです. アンテナ特性を考慮した, MIMO システムのシミュレーション・測定・評価法について解説し, さらに様々な MIMO の実例を通して理解を深めることで, より実践的な MIMO アンテナシステムの設計・解析・測定ができる力をつけていただきたいと思います.

「できる！実践MIMOアンテナ」
講師　本間尚樹先生(岩手大学)
2018年6月22日(金)　9:30～17:00
東京工業大学(田町)　キャンパス・イノベーションセンター
申込締切　5月22日(火)

最近は, 凝ったタイトルがブームのようです. 実行委員会の皆様, 色々と工夫いただきありがとうございます.

【4】二種研AMT研開催案内(変更あり)

8/9(木)に計画していた二種研AMT研の根室開催は，諸事情により中止になりました．AP研国内最東端の更新は一旦お預けですが，きっと有志によりいずれ実現されるものと期待しております．根室でのご発表・ご参加を計画されていた皆様，申し訳ございませんでした．測定関連の研究者の皆様，近日中に代替研究会のご案内をいたしますので，会場・日程・締切など最新情報は，AP研HPのAMT研ページをご覧ください．

【5】VJISAP2018開催案内

4回目の開催となる国際二種研VJISAP2018が，下記日程で開催されます．2014年ハノイ，2015年ホーチミン，2016年ニャチャンに続き，1年休んで今回はベトナム中部の中核都市ダナンです．ベトナム開催も定着してきており，ファンの方もいらっしゃると思います．是非，ご参加ください．

The 2018 Vietnam-Japan International Symposium on Antennas and Propagation

2018年5月30日(水)～6月1日(金)

ダナン大学(ベトナム・ダナン市)

【6】今後の一種研・二種研開催案内

次回の一種研は，5月に熊本大で電波伝搬オーガナイズドセッションが開催されます．2月に続きオーガナイザを引き受けていただく吉敷様，ありがとうございます．チュートリアル講演「円偏波アンテナに関する考察とその広帯域化への挑戦」を福迫先生(熊本大)に，IEEE AP-S Fukuoka Chapter特別講演「次世代低周波電波望遠鏡Square Kilometre Array」を高橋慶太郎先生(熊本大)にお願いしています．また，退任執行部の記念講演が企画されています．6月は恒例の機械振興会館で，各種表彰も行われます．7月は，SAT研・SANE研と併催で三都物語札幌・北大です．同じく7月には，国際二種研AWAP2018がタイ・パタヤで開催予定です．たくさんのご発表・ご参加をお待ちしております．

【7】ISAP2018＠釜山投稿案内

今年のISAPはお隣韓国での開催となります．詳細は次号でお知らせしますが実行委員長のChoi先生(Hanyang大)とTPC委員長Min先生(Korea Maritime and Ocean大)に3月一種研にて会議プロモートをしていただきました．開催は下記のとおりです．詳細はISAP2018 HPをご覧ください．

2018年10月23日(火)～26日(金)

パラダイスホテル釜山(韓国・釜山市)

投稿締切　5月18日(金)

釜山には，成田・関空・福岡から直行航空便があります．船便での渡航もできます．関釜フェリーが下関から出ています．あるいは，博多港から高速艇で行くことも可能です．皆さんは何で行きますか？ 個人的には，博多からビートル(高速艇)に乗って行ってみたいと思っています．

【8】副委員長の戯言「アンテナのある風景」

前回に引き続き，FM放送ネタです．いわゆる「ワイドFM」はAMラジオ難視聴対策として90～96MHz帯が割り当てられていますが，それ以前から既存の76～90MHz帯においてもAMラジオ局が放送をしている地域があります．【Q&A】問題です．既存FMバンドでAM局が放送している理由は次のうちどれでしょうか？ ①当該地域にFM独自局がないから，②海外の中波ラジオからの干渉が強いから，③都市雑音が強いから．

(前回の答え．FM補完放送では基本的に中継局の扱いのため，①AM放送と全く同じ，が原則のようです．ただ，例外として実験的に独自放送が行われた例はあるようです．

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　山口 良（ソフトバンク）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/